

甲佐町議会だより



清

流

第144号

平成25年2月15日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 本田 新

12月定例会



成人式（1月13日）

人事案件・報告案件・指定管理者の指定案件
 規約の一部変更案件・条例の一部改正案件
 平成24年度一般会計・特別会計補正予算②

論点Q & Aそこが知りたい③

一般質問5人ここが聞きたい.....④～⑧

子ども議会.....⑨～⑪

12月定例会

12月定例会は、7日に開会し、11日まで5日間の審議を行った。
 案件は、人事案件1件、報告案件1件、指定管理者の指定1件、規約の一部変更1件、条例の一部改正1件、平成24年度甲佐町一般会計及び特別会計補正予算案件2件、その他の案件が上程され、全て原案どおり可決した。

また、要望1件が採択となった。
 なお、一般質問には、5人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

専決処分の報告及び承認

平成24年度甲佐町一般会計補正予算（第3号）
 729万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、64億9159万6000円とする衆議院選挙に伴う補正を原案のとおり承認した。

上益城広域連合の処理する事務の変更及び規約の一部変更

上益城広域連合規約の第4条中「障害者自立支援法」を「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改める一部変更を原案のとおり可決した。

甲佐町定住促進住宅指定管理者の指定

共同企業体（コスキ不動産・日本管財・明和不動産）を指定管理者として指定することを可決した。

甲佐町暴力団排除条例の一部改正

暴力団による不当な行為の防止等に関する法律の一部改正により、原案のとおり可決した。

平成24年度甲佐町一般会計補正予算（第4号）

○一般会計

- 3億5253万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、68億4413万3000円とする補正予算を全会一致で可決した。
- ・戸籍住民登録費 892万5000円増
- ・児童福祉費 1億66万 6000円増
- ・保健衛生費 1億7449万 8000円増
- ・農業費 569万5000円増
- ・住宅費 3237万 5000円減

- ・保健体育費 8940万 5000円増

平成24年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

○特別会計

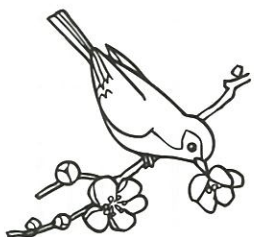
- 1億9584万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、19億2747万5000円とする補正予算を全会一致で可決した。
- ・基金積立金 1億6000万円増
- ・償還金及び還付加算金 2964万 4000円増

固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、新たに甲佐町上早川1665番地の大森隆盛氏が選任され、全会一致で同意した。



大森隆盛氏



そこが 知りたい

Q & A

12月定例会 質疑より

住宅耐震診断および 改修事業の継続は

Q 住宅の耐震診断事業および改修事業費が減額されているが、来年度は継続事業として考えておられるか。

A 耐震事業および改修事業を継続することによって、甲佐町がそれだけ防災について関心があるということにもなる。
来年度改修を予定されている方もおられるので継続したい。

町営住宅を指定管理者制導入を

Q 甲佐町定住促進住宅（施設名 サンコーポラス甲佐）については指定管理者制を導入されて管理も十二分に行われ、家賃の滞納も一切ないということであり、町営住宅についても指定管理者制を導入されてはどうか。



町営住宅の指定管理者制は導入できないか

A 町営住宅については一般的には低所得者向けであるので、サンコーポラス甲佐のような指定管理者制ができるかどうか行財政改革の中で検討してみたい。

定住促進住宅施設整備基金の状況は

Q 定住促進住宅施設整備基金があるが現在の基金高は。

A 指定管理者のほうで使用料を徴収し、その中から維持管理費および指定管理料等を差し引いて、町に振込がある。その金を今後の定住促進住宅の大規模改修等の財源に充てるため現在2002万4000円基金として積み立てている。

一般会計から国保会計への繰出金とは

Q 一般会計から国民健康保険特別会計へ1億6000万円繰出金がおこなわれているが、このことについては、議会の全員協議会においても繰出しを申し入れ、町長も苦しい中、英断をもって実行されたと思うが繰出金額の算出基礎は何か。

A 24年度国保会計で財政調整基金8000万円を取り崩しており、現在基金は枯渇している。基金については額をいくら積立なさいという指導はあつてない。
そこで本町では過去3年間の保険給付費の5パーセントを目安として算出した額1億6000万円を繰出金とした。
また、この繰出金を行わなかった場合、25年度国保会計予算が組めないことも予想されるため繰出しをした。

一般会計から繰出しを受けなくて国保会計の中で運営が出来ることが基本である。

防災対策の備蓄倉庫とは

Q 防災対策で備蓄倉庫工事が予定されているが概要の説明を。

A 設置場所は下横田地内で国道443号線の二段橋から浅井地区に入る所の右側で敷地は504平方メートルである。

建物は資機材保管庫および山砂、土砂等の保管庫2棟からなる。
資機材23品目の5000点ほどを備蓄予定である。



防災備蓄倉庫予定地

一般質問 と答弁



ここが

聞きたい

中村 幸男 議員



国民健康保険の健全運営について

議員

国民健康保険が危機的状況という中で、税制改正もあり、過去10年間の医療給付並びに財政調整基金の状況を説明していただきたい。

住民生活課長

加入者の推移は、平成14年度3931人、その後増加したが、平成19年度から23年度まで288人減少している。

保険給付費は、平成14年度6億8114万6000円、一人当たり17万3000円、23年度は、11億2614万7000円、一人当たり29万2000円となっており、10年前と比較すると保険給付費が4億4500万1000円、一人当たり11万9000円、町の負担が増加している。

企画財政課長

平成14年度が1億1350万円程度、18年度まで増加していたが、19年度から毎年5000万円づつ減少し、24年度は8000万円ほどを取り崩し、本年度基金残高は枯渇状況にあり、平成25年度予算編成が極めて困難な状況になっている。

議員

今後、財政面での国保運営は、

企画財政課長

平成24年度税率改正を行い、調定増を4500万円ほど見込んでいたが、実際、所得低迷等で3700万円程の収入であり、今後、毎年度1億円程度不足すると予測している。

町長

国保財政健全化に向け、ジェネリック医薬品の使用率向上、保険給付適正化のためのレセプト点検の強化、また、健康づくり座談会の実施、特定保健指導の強化など、今後3年間をかけ取組んでいきたい。

また、今回、議会からの申し入れもあり、まず、2年間の安定運営を図るため、緊急的に一般会計から1億6000万円を繰り出し、国保会計の基金へ積立てる補正予算をお願いしている。

議員

町長も見られたと思うが、甲佐民報に「平成23年度決算において、国保会計は6600万円の赤字になった。引き上げた国保税を元に戻すべきだ。」と載っていたが、本当に黒字か尋ねたい。

住民生活課長

23年度の歳出歳入の収支は、6636万2000円であるが、前年度の繰越6400万円、基金の取り崩しが4000万円あるので、差引きの単年度収支は、マイナス3766万5000円となっている。

議員

総合保健福祉センターとして、国保事業の財政健全化に向けた取組みについて尋ねる。

総合保健福祉センター所長

来年度以降の全戸訪問は、適正な人員配置を行う着実な実施を考えている。

議員

あゆ（I・YOU）スポーツは、どのような趣旨で設立され、会員は何か名くらいか。

社会教育課長

一人ひとりの健康と元気な町づくりを目的とし、種目が6種目、24年度の

会員は115名で運営されている。

議員

健康づくりを考えた場合、総合保健福祉センター、社会教育課など、全課で取組んでいただきたいと思うが町長の考えは。

町長

国保の問題は、アクションプランの中で説明しているように全庁で取組むものであり、今後の国保の安定運営ができるよう考えている。



がん検診

その他

「甲佐町を県内外にPRするには」の質問があった。

西坂和洋 議員



建設課長

町道坂谷線については、単年度で全部は難しいと思う。2〜3年内に、危険箇所から布設を行うよう考えている。

議員

船津地区の馬門川の上を県道が走っており、川自体がほぼ直角の状態、水が道路をオーバーフローし灌水状態になりはしないか。

町道の維持管理状況は

議員

町道は、全部で152路線あるが、1級町道10

路線、2級町道5路線、残りの町道はその他の路線となっている。

1級町道坂谷線と六谷坂谷線の交差点あたりのU字溝の蓋布設、小鹿線の落石防護対策、部落要望はどうなっているか。



小鹿線の落石防護は

建設課長

町道山口甲佐線の起点は、馬門川の水路に角度がつきすぎており、県に要望し、平成24年に測量、平成25年までには県の事業で行うようになっていく。

議員

町道の管理はどうなっているか。

建設課長

町民の方からの通報等があった場合、陥没箇所、支障木の伐採、草刈り等特に通学路は数回実施している。

町有財産の管理は

議員

町有財産の売却時の基準額は、どうなっているか。

総務課長

売却物件によるが、例えば、道路等の売却になれば県、国の基準に、町の固定資産評価額と照合し売却額を算定している。

議員

旧営林署の鉄道跡地は、売却又は借用可能か。

建設課長

お尋ねの跡地は、町道下豊内西原線として認定している。

議員

また、跡地が里道等になると、その部分の払い下げも可能となるが、里道自体を受益される方の承諾が必要で、現地調査の上、協議していく。

町税の滞納状況は

議員

税金の債権状況はどうなっているか。

税務課長

町税等の年度別の滞納額は、21年度1億2585万2590円、22年度1億2824万6344円、23年度1億3044万5045円となっている。

また、国民健康保険税では、平成21年度が1億5803万5569円、

議員

平成22年12月14日の全員協議会で、議員の滞納問題が議論されているが、その後、完納されたか。

税務課長

個人情報のあることあり、お答えできない。

議員

町営住宅使用料の徴収はどうなっているか。

建設課長

現在の滞納者は過年度を含め52名で、今年度3名の完納があり、滞納額も平成20年位から減少している。



第1回甲佐町公会堂

荒田 博 議員



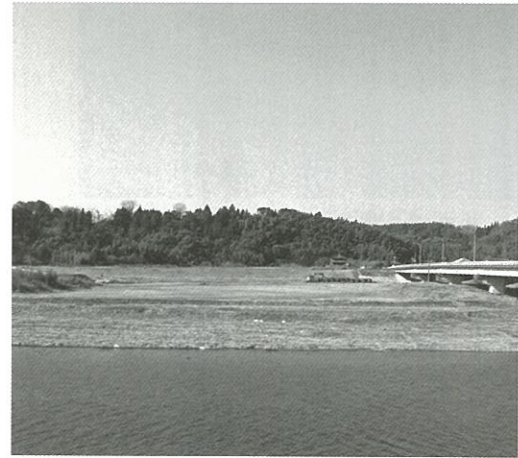
緑川を利用した町づくり

議員

町内において緑川の河川敷を有効利用できる箇所が多々あると思うが、町としての考えは。

企画財政課長

河川敷等の環境改善に向けて理解と支援していただくように、現在関係省庁に要望している。本年度の要望活動の中で国交省と河川敷に関しては、「かわまちづくり」支援制度について研究を始めたところである。



開発が望まれる河川空間

中学生の進路状況は

議員

以前学校教育の現状を把握する為、中学生の学力試験を基に質問したが、今回は進路状況についてお尋ねする。

町長

本町においては幸いなことに緑川の河川空間を活かせる場所が非常に多いと考える。その中で、何に取り組めるか整理が必要で、「かわまちづくり」事業によって考えていき、勉強会をお互いやること、関係省庁との理解が深まり、本町に一番あった整備を要望したい。

教育長

生徒数の変化が非常に大きいものがある。郡内でも5番目の生徒数になっている。そういったことから、中学校の学校教育目標に、夢の実現に

新規事業の進捗は

議員

向けて努力する生徒の育成に、あらゆる面から学力向上、体力向上を図っている。学力向上を本町内の各学校で取組んでおり、小中一貫教育と教員の指導技術を高めて取組んでいく。
進学は、学区制が変わり熊本市内の学校に進学する生徒が多くなった。
さらに、甲佐高校、御船高校の関係をみると以前は交互になっていたが、御船高校を選ぶ生徒が非常に多くなっている。

建設課長

木造住宅耐震診断事業については、計画30戸であるが実績は3戸で、耐震改修事業については、事業の構成として耐震診断で耐震不足という住宅に耐震改修の対象となるため実施されていない。

環境衛生課長

住宅用の太陽光発電システム設置補助事業は予算額480万に対し、進捗率99・5%で申請を縮

議員

め切っている。浄化槽設置事業については、進捗率は58・4%である。

町長

いろいろな考え方があがる町の大きなPRにもなる事業であり、安心・安全の町づくり推進、そういった意味合いも非常に大きい。基本的にこの事業については当面の間続けていこうと考えている。

産業振興課長

人・農地プラン作成事業は、24年度・25年度の2カ年で事業を進めてい



太陽光発電システム設置補助事業

福田 謙二 議員



職員の指導・教育、その後は

議員

新人職員の研修の意味で、自ら地域に出向き、道路名・地区名・公民館・各区長さんを訪問し、体験を通して地域の実情を把握することが自分のためにもなり、町民のためにもなるのではと提案したが、検討された結果どのようなになったか。

総務課長

新人に限らず職員が地域に向いて地域の実情を把握することは重要なことだと十分認識をして

いる。

しかし、最優先に考えると、配属された部署における業務を一日も早く習得することが町民への直接のサービスの向上につながるものと考えている。

町長

マニフェストの中に地区別担当者制度というものを掲げており、現在、総務課で検討中である。

今後の住宅開発地

議員

酒六跡地が2年間、町内の業者に公募されたが該当がなく、町外の業者に公募されて、その後の経過は。

町長

これまで民間の企業による開発を優先的に考えてきたが、民間でできないのであれば、町のほうで開発を行いたい考えを持ってしている。



住宅開発が望まれる町有地

町営住宅の設計

議員

浅井団地の外部階段と2階の通路の件で指摘したが、今後の横田団地の設計はどうなったのか。

建設課長

2階建ての部分は浅井団地での経験を活かし、内部検討をし、長屋タイプから共同住宅タイプに



浅井団地の外部階段

変更する方向で考えている。

2階の通路部分は、4戸が横に並ぶので、お互い行き来が自由にできるような仕切りは設けないよう考えている。

踊り場下の部分は、清掃道具など物入れに使うことで、仕切り扉等を設置し安全性を確保したい。

進出企業との連携

議員

ツツミ電子、大福物流の一部が町外に移転・増設したが、事前に情報はなかったのか。そして、今後の町の取り組みは。

町長

非常に残念な結果となったが、日ごろから企業側の考えとか、今後の事業展開を町も常に把握しておく必要があると感じている。

進出企業協議会を設けているが、今のままではいけないという認識を持ってしている。協議会を町の方で進めていくために、町長が会長になるような意見もあり、本当に意義のある、意味のある協議会にしていきたい。

井芹 しま子 議員



地方交付税と過疎債の見直しは

議員

本町の交付税が近年増加傾向にあるがその要因は。

企画財政課長

事業を行う際、返済の7割が交付税で見てもらえる過疎債の増加がその要因の一つになっている。今おこなっている大きな事業である中学校の立替、上揚井戸江線の橋梁、松ヶ崎妙見谷線の工事があり、過疎債等による公債費（借金）は28年度をピークに8億9000万

円まで伸びてくることを考えている。

議員

過疎債の増加による財政運営は。

企画財政課長

過疎債での事業をどんどん増やすと後年度の財政負担が大きくなる。起債（借金）についてはちゃんと考慮しながら健全な財政運営を行ってきたい。

普通建設事業率・公債費率の見直し改善は

議員

普通建設事業を決して否定するものではないが、普通建設事業率の甲佐町と同規模の南関町、和水町、氷川町、錦町の平成13～22年の平均をみると5町の平均は18・5%と甲佐町はそれより5・6%高くなっている。

普通建設事業率と公債費率を合わせた推移でも5町平均の30・7%を6・5%上回り、37・2%となっている。H22年度の決算で見ると3億6000万円程度が他の

同規模の自治体と比べ、その他の必要な費用に回せなかったのではないか。この点について見直し、改善は。

町長

財政指標では実質公債費比率が以前の14%から10・1%へ改善してきている。経常収支比率も80%台へ落ちてきている。そう心配するような財政運営ではないと考えている。

特産品開発の到達と今後の展開は

議員

特産品開発で町長は農業で生活できるようにしたいと心えておられたがこの事業で開発されたニラあられとニラまんの今後の展開は。

産業振興課長

ニラあられ等についてはレシピ等を公表している。このような品物を造りたいという方々が出てくることを期待している。今後は、10店舗で20品の新たな特産品の開発が進められており、町挙げて応援するような体制をとっているので特産品として開発してもらいたい。

グリーンセンターを活かした地域づくりは

議員

グリーンセンターの建物も老朽化してきている。もっと来場者を増やし、地元樹芸農家の振興や活性化の為に、建物などの改善を図るなどグリーンセンターを活かした地域づくり、町づくりを進めることは出来ないか。

産業振興課長

グリーンセンターは現在、緑川森林組合が運営している。このグリーンセンターは町の観光地の

町長

一つという位置づけで看板などの設置はしているが、運営は緑川森林組合であり、その後のPRは当然組合がすべきだと考える。町の観光地の一つということでPRはしていきたい。

議員

敷地・施設は町のものであり、観光地として来場者を増やす為にも施設など全体の改善は考えるべきではないか。そのことは地元の農家の経営にもプラスになるのでないか。

その他

医療費一部負担金減免の制定の質問があった。



子ども議会を終えての感想

昨年10月29日に開催された、「第4回子ども議会」に参加した、18名の感想文を掲載します。



1年
東 蒼一郎
ひがし そういちろう

ぼくは、主に道路についての質問をしました。特定の場所への質問が多かったのですが、一つ一つ丁寧に調べてもらっていて凄いなと思いました。

大雨の時、水の溢れる道路は少しずつ工事が行われていますが、幅の狭い道などは、予算のことを考え工事を行わなくてはならないそうです。その他の問題にも、「予算の都合」という理由が多かったように感じました。少しずつでも順番に工事をしてもらえればよいなと思いました。



1年
澤田 海人
さわだ かいと

子ども議会に参加しての感想は、自分たちが不便に思っていることを、町



1年
戸高 茉央亜
とだかま おあ

長さんをはじめ役場の方々に聞いてもらい、とても良かったです。ぼくは、一番最後に質問をすることになっていたので、ずっと緊張しっぱなしでした。とても緊張したけど、きちんと自分の聞きたいことを聞けたので良かったです。

初めての子ども議会で緊張しました。質問の最後に感想を言う時に、きちんと言えなかつたので、来年機会があれば挽回したいです。他の点は大きな声も出せて、ぴしっと椅子に座って頑張ることができました。町長さんをはじめ町役場の方々、2年生と3年生の先輩たちの突然の質問にも丁寧に答えられていて、来年は僕もそうした臨機応変の質問が出来るようになりたいと思いました。



2年
大島 礼奈
おおしま れいな

私は、今回子ども議会で議長を務めました。大きな声でゆっくりはつきりと言うことを意識して頑張りました。初めての参加で、とても緊張しましたが、おおむね責任を果たすことが出来ました。議員を指名する時や、担当の課長を呼ぶ時、席順表で確かめて指名することが難しかったです。でも、4人目位の質問者の時は、「〇〇課長」と自信を持って呼べるようになりました。今回の経験で、私は自分に自信を持つことが出来ました。これから、学校生活にこの貴重な体験を活かしていこうと思います。また、甲佐町のことにも積極的に関心をもっていきたいと思っています。

最初、僕は質問する議員役だと思っていました。だけど、司会をする議長役を任せられ、驚きました。落ち着いてしっかり頑張ろうと思いました。家で何回も何回も練習をしました。リハーサルの時も議場は、僕たちが経験したことのない緊張感が漂う場所で、凄く緊張しました。



2年
上古 閑 健
かみこが たける



2年
甲斐 夕貴
かい ゆうき

本番では、リハーサルより更に緊張しました。後半からの司会でしたが、心臓がドキドキしていました。最初少し戸惑いましたが、後では慣れてきて自分的には頑張ったと思います。よい経験をする事ができました。これから、僕たち中学生も町政に関心を持つようにしたいと思います。ありがとうございます。

私は子ども議会で、甲佐町が花で溢れる町になったらよいと思ひ質問を考えました。疑問に思っていることを、質問できてとても良かったです。私は普段、自分の意見を言うのが苦手です。でも、自分の意見を言わなければ、他の人の意見を聞くことも出来ないし、自分の意見に対してみんながどう思っているのかも分かりません。だから、自分の考えを言うことは、とても大切なことなんだと、子ども議会を通して考えることが出来ました。また、自分の意見に対して、役場の方の意見を聞けてとても良かったです。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。



2年
川崎 光央
かわさき みつお

私は今回初めての参加でした。議場は緊張感があり、発表以外でもドキドキしました。役場の人も一人ひとりの質問に丁寧に答えていただき、有り難かったです。町長さんをはじめ、町当局のみなさんに何度質問しても冷静に対応していただきました。とても意義深い会でした。来年はもっと生徒みんなで甲佐町をよくする質問や要望を考えて、より良い子ども議会にしていきたいと思えます。



2年
緒方 梨花
おがた りんか

議場に入ったときは、とても緊張しました。リハーサルの時もとても緊張して、本番は大丈夫かなと思いましたが、本番では、自分の番が近づくとつれてドキドキしてきました。私の質問に対して、役場の方が分かり易く答弁してくださったので、うれしかったです。私は、この体験で学んだことをこれからの学校生活をはじめ、社会の一員としての将来の生活に活かしていきたいと思えます。



2年
石井 真奈美
いしい まなみ

私は、子ども議会リハーサルで、初めて「議場」という場所に入りました。窓が一つもなく静かだったので、とても緊張しました。練習で自分が発言する時も、とても緊張して間違えました。そして、本番当日。前半は、自分の発表はなかったのですが、友達の発言や町の答弁をしっかりと聞きました。自分も気になっていたので友だちが質問して町の取り組みや事情が良く分かりました。後半、自分が発言する時、緊張して声が震えてしまいました。でも、自分の知らなかったことを知ることができてよかったです。子ども議会は、私にとつて人前で発表するということが、町のことをよく知ること、とても貴重な経験になりました。



2年
守田 公樹
もりた ひろき

子ども議会では町の役場の人たちは、僕たちのいろいろな質問に対し、分かり易い説明に努力されて大変だっただろうと思えました。生徒の突然の質問にもきちんと対応されて、凄いなと思いました。子ども議会で分かったことは、様々な住民からの要望も、それが実現



2年
上地 那生
うえち なお

するまでにはいろんなことをしなくてはいけなくて、簡単なことではないんだとわかりました。これからも、甲佐町をもっとよくするために様々な行事に出て、関心を持つようにして町の役に立つようなことをしたいです。

僕は議会に参加して良かったと思えました。なぜなら、議会はとても楽しかったからです。なぜ楽しいかという点、子ども議会は自分の意見を主張でき、その意見に対し真剣に答えてくれたからです。今、日本はたくさんさんの問題を抱えています。なので、ぼくはしっかりと勉強して、将来、日本や甲佐町に貢献できる人になりたいと思っています。こうした貴重な場を作ってください、ありがとうございます。



2年
佐藤 優美
さとう ゆみ

私は、初めて子ども議会に参加しました。リハーサルで初めて議場に入った時、窓もない空間で不思議な感じがしました。本番ではとても緊張するだろうと思いき、家で質問の練習をしまし



3年
曽我 拓矢
そが たくや

た。本番前に、席に座っていると役場の方々的人数がだんだん増えてきて緊張していきました。始まる前は、ちゃんと質問できるかと、声が出せるか心配でした。でも、ちゃんと聞かされたので良かったです。子ども議会に対して最初、私は消極的でしたが、終わってみると、とてもいい経験が出来たと思います。来年ももう一度やってみようかと思っています。

僕は、甲佐町議場という僕の人生の中でも何度も立てないような場所に立つて発表ができて、とても感激しました。感じたことは、まず、議場に集まった人たちの気合の入り方と、緊張感がとてもあったということです。練習の時はリラックスして気楽にしていきましたが、いざ本番になると、職員のみなさんの優しいような顔が一転、とても真剣な顔になり、自分もしっかりしなければという気持ちになりました。そして、みんなの質問に対して、とても納得のいく答え方でも勉強になりました。自分の順番になった時、とても緊張して舌が回らなかつた時もありましたが、しっかりと発表することが出来ました。



3年
本田 悠貴

僕の質問に対し、役場の方々の回答はとても分かりやすかったです。今回の経験は、おそらく僕の人生の中で、何回もあるようなことではないので、しっかりと準備して臨みました。議場に立つと間をとった話し方が出来なくなりそうだったので、何度も練習をしました。これまでに出了れたような質問であっても、視点を変え中身を変えて聞きました。この子ども議会でのやり取りを通し、甲佐町で暮らすすべての人たちが安心して暮らせるようになったらと思います。甲佐町役場の方々には、親切な対応をしてもらってありがとうございました。



3年
伊豆野夏実

子ども議会に参加し、自分が知りたいうことを聞くことが出来て、とても良かったです。私は2回目の参加でした。しかし質問席に立つと、緊張して早口になってしまいました。役場の方々は私たちにアドバイスや、質問に対する回答を一生懸命してくださいました。私は「中国との国際交流」について質問をしました。最近の日本と中国の関

係は、領土問題でぎくしゃくしています。甲佐町と柳州市との国際交流は、これからどうなるのかと私は疑問を持っています。国際交流は、民間の問題でもあるので、今後も交流が続けばいいと思います。

今回の子ども議会を終えて、私は人の前で立って自分の考えや意見を発表することは、とても大切だと思いました。



3年
舛田 実優

私にとって今回の子ども議会は、2回目の参加でした。昨年子ども議会では、緑川美化作業の「回数を増やせないか」と質問しました。そしてそれは、実現することが出来ました。子ども議会の楽しさ、やりがいを学ぶことが出来ました。

しかし、発表の仕方としては、昨年緊張して声が震え、自分の意見もうまく言えないところがあって、今年はその反省をもとに臨みました。

今年、甲佐町の人口増加について質問をしました。本番では、落ち着いて発言することが出来たと思います。昨年の楽しさとは少し違う楽しさを感じることが出来ました。

私にとって最後の子ども議会は、とてもよい思い出になると共に、これからも甲佐町のことを大切に考えていきたいと思いました。



3年
井芹 慎吾

僕は町長様はじめ甲佐町役場の方々に、とても感謝することがあります。それは、僕たちが甲佐町に対する疑問や意見に対し、町当局の方々が真剣に考え、その答えを返してくださいました。

僕にとって、今回の子ども議会は2回目、中学生最後の子ども議会でした。だから、前回よりもはっきりと大きな声で堂々と発表しようと考え、発表の練習から真剣に取り組みました。そして、臨んだ子ども議会でした。緊張しながらの発表でしたが、町当局の方々は昨年同様、質問に対し、しっかりと考え丁寧に返してくださいました。どの方も甲佐中生からの質問や意見を真剣に受け取り、実行しようと考えて下さったので、とてもうれしかったです。今回の子ども議会の経験を通して、自分はまだまだ甲佐町について考えきれていないと思ったので、これから、自分の町である甲佐町についてしっかりと学んでいきたいです。



3年
木村 沙綾

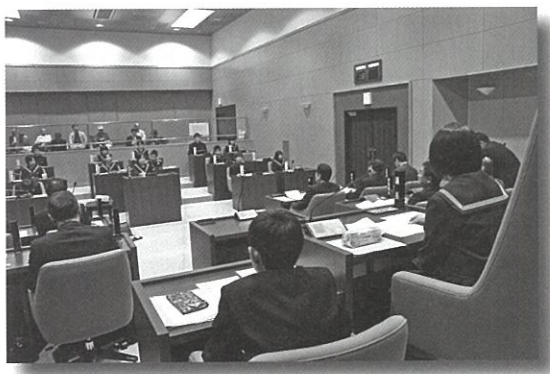
甲佐町子ども議会を終えて、私は、

この子ども議会に参加できて良かったなーと思います。

なぜなら、自分の意見を直接、甲佐町行政の皆さんに伝えることが出来たからです。準備の最初の頃は、何も考えず軽い気持ちでいましたが、みんなが書いている意見を見て「もっと真剣にしなければ」と思いなおしました。

議会当日、始まる前までは、なごやかでリラックスしていましたが、始めるとみんなピシッとしていてすごかったです。

議会の中で、特に心に残っているのは教育長さんとお話された「川を、学ぶところとしても使ってほしい」ということばです。遊ぶ場でもあり、学ぶ場としても貴重な甲佐町の川です。この言葉は、生徒のみんなに伝えなければと思います。子ども議会が開催されたのは、今日一日だけでしたが、参加できてとても良かったです。



幼稚園就園奨励費補助の完全実施についての要望

社団法人熊本県私立幼稚園連合会

理事長 吉田精華氏

熊本県私立幼稚園PTA連合会

会長 大森恵太氏

の両氏から提出された要望は、全会一致で採択した。

内容

保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとともに、公・私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正を図ることを目的としている。

要旨

幼稚園就園奨励費補助を国が示す基準どおりに完全実施していただきませう、幼稚園と保護者の総意をもって、強く要望いたします。

議員行政視察研修報告

本議会では、10月23日から25日までの日程で、本町の課題である国民健康保険運営と農業分野における営農組合や生産組合の法人化の参考とするため、行政視察研修を行いました。

長野県松川町での研修は、町の負担となる高額の医療費抑制のため、保健師・管理栄養士による全戸訪問事業などの取り組みや病院と連携を行い、透析患者などの重症化の減少を目標に活動されていきました。

特に、生活習慣病に対して、小学校5年生と中学2年生の血液検査（血糖・コレステロール）を実施されました。

また、自治健康学習会では、健康を考える集会として、健康に関心のある住民や組織が主体となって開催されています。

本町でも公民館出前講座を活用するなど、今後の取り組みの参考になると思います。

次に、同県駒ヶ根市の農事組合法人「北の原」は、営農組合を法人化されたもので、農地の集積率は94%、米・麦の他、白ねぎなどの生産品目を選択し、収益向上へ向けて取り組まれています。

今後は、新品目として「ごま」の栽培に挑戦していきたい、また地域で農業を守り育てるために、今まで以上に自分たちの農業を確立し、積極的な取り組みを展開したいということでした。

農業を取り巻く情勢は、日々変化しており不安定な状況が続いています。本町でもそれぞれの組合が法人化され、農地の集積を図り、作物の収益向上や耕作放棄地の解消に参考になる点があったと考えています。

全員協議会

議員間の申し合わせは、「議員の滞納問題の解決に向け、①口座引落しの実施。②滞納に関してのみの情報公開の請求に限り、全員の同意を得た上で、氏名の開示に応じる。」としていた。

平成24年6月定例議会の開会前、納税証明書の確認を行い、平成23年度の議員全員、税の滞納が無く、口座振り替えは実行されていた。

「平成24年1月に督促を受けている議員さんがおられます。議員の氏名等を公開してください。」という住民の方から開示請求があったので、全員協議会を7月、9月、12月の3回開催した。

7月3日（火）は、督促対象者の氏名を開示する同意を求め、全員の同意が得られたので、開示請求者へ開示するよう執行部へ通知した。

9月19日（水）は、督促対象者に自ら名乗り出ることと釈明を求めたが、名乗り出る議員がいなかったため、執行部に対し氏名の開示を求めた。

12月7日（金）の全員協議会において、氏名が明らかにされた。対象者からは「第7期分（12月納入分）について、口座の引落しが出来ていなかった。1月5日に納入したので督促状は来ていない。遅れたことには反省をしている。」ということであった。これを受けて、今後は税の滞納問題については、同意を得ずとも全員協議会において公表し、謝罪を求める「新たな申し合わせ」を決定した。

編集後記

「清流」第144号、今年初めての議会広報となります。

今年の干支は「巳」です。

巳の字は「復活と再生」の意味があるそうです。

東日本大震災、九州北部豪雨、災害からの一日も早い復興を願うものです。

さて、昨年10月29日に子ども議会が開催され、中学生18名が本町の課題等について質問しました。

内容は、「広報こうさ」12月号に紹介されました。

本誌には、子ども議会を体験した生徒の感想文を載せました。

議会広報は、会議の内容について、要点をまとめて掲載しています。町民の皆様に見易く、分かり易い紙面づくりに心がけ、親しまれる広報を目指して参りますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 本郷 昭宣
- 副委員長 井芹しま子
- 委員 西坂 和洋
- 委員 福田 謙二
- 委員 荒田 博